

第2次恵那市地域計画

武並地域自治区

【キャッチフレーズ】

「住めば好きになるまち、たけなみ」

【地域の現状】

武並町は恵那市の中でも、ふたつしかないJRの駅のひとつを擁し、国道19号・418号などの主要幹線道路が走る交通の要衝ともいえる地域です。瑞浪恵那道路の恵那工区が事業化され、また、リニア中央新幹線地上部が建設される事業も進みはじめ、大きな変化が起こる可能性を持った地域でもあります。

工業団地「恵那テクノパーク」を擁し、また新たに、「恵那西工業団地」の開発事業もあり比較的恵まれた地域ではありますが、それでも人口減少・高齢化の波は着実に押し寄せており、将来を見据えたビジョンを明確に示し行動しないと、地域の衰退は避けられないのが現実と考えています。

古き歴史の道「中山道」と最新鋭の交通手段「リニア新幹線」が同居する町・武並町。若い力へのシフトも踏まえ、さらに住みやすい町を目指します。

【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

交通アクセス・自然環境に恵まれた武並町は、恵那市内の中でも住宅地として発展する可能性を秘めています。今後の瑞浪恵那道路等の事業により予測される環境変化を踏まえて、武並町は「住環境重視の町づくり」を推進し、人口減少の抑止、地域を活性化する交流人口の増加を目指します。

また、子どもを持つ親が安心して働き続けるための通年型学童保育、地域の子どもたちやお年寄りが安心して暮らせる、地域が一体となった見守り型福祉活動や、支え愛の会を中心とした互助活動を推進し、住民一人一人やさしさ、おもいやりを持って住み続けたいと思い、他市町村の住民も住んでみたいと思えるような町づくりを進めます。

JR武並駅や主要幹線道路を擁する武並町は、他の市町村で働く人々の居住地としても便利な町。その優位性を活かし、恵那市の人口増加モデル地域となるべく、地域でできる住みやすい環境づくりを住民自らが考え、実践していきます。

また、若い世代が町づくりに参加できる環境、住民が自立した地域活動ができる環境づくりを考えていきます。

【計画の柱(基本目標)】

1. 地域が見守る福祉のまち

特定の人が福祉活動を行うのではなく、すべての住民が自然体で、子どもや高齢者・体に不自由のある方を守る「思いやりのある」町づくりを目指します。

2. 人が行き交う交流のまち

交通アクセスのよさを前面に押し出し、県下最大級のスケートリンク「クリスタルパーク恵那スケート場」や歴史的観光資源「中山道」などを核に、人の行き交う活気ある町づくりを推進します。

3. 活気あふれる自立のまち

住民自らが考え、行動する地域自治の精神を強く意識し、財源の確保・経済的自立も踏まえた組織・体制作りを進めます。

【基本施策】

計画の柱1：地域が見守る福祉のまち

(1) 安心して子どもが育てられるまち

子どもたちが学校以外でも安心して生活できる環境の整備を考えます。

登下校の際の見守りだけではなく、親や地域住民の目の届く安全な遊び場や公園の整備、共働き家庭等のための通年型学童保育を推進します。

(2) 高齢者や体の不自由な方に優しいまち

住民の高齢化に伴う一人暮らしの方や高齢者世帯の増加に対応し、配食等を活用した見守りの拡大や、自動車の運転ができない方や公共交通機関が不便な地域を対象にした移送のサービスを検討していきます。

(3) 笑顔で住み続けられるまち

自然や人を大切に、地域・学校・住民団体が一体となり、明るく健康で安心して生活できる地域づくりを考えます。

計画の柱2：人が行き交う交流のまち

(1) 観光資源の有効活用

中山道を中心とした地域資源を有効に活かし、歩いて楽しむ観光を提案していきます。特に藤地区には美しい農村風景があり、その保全も含めて有効な活用方法を検討していきます。

(2) 人口減少の抑止

JR 武並駅の利便性や工業団地などの職場環境のある地域としての特色を活かしたまちづくりをすすめるため、武並駅周辺の整備を検討していきます。また、市内外からの空き家のニーズが増加しているため空き家状況を把握して、活用し人口減少を抑止します。さらには、住みやすい地域の特徴をピーアールしていきます。

(3) 武並駅およびその周辺の有効活用

月極駐車場だけではなく、他の町村周辺住民が駅を利用しやすくなるような一時駐車場の整備など瑞浪恵那道路の事業に合わせ武並駅周辺の整備を検討していきます。また、JRを利用した交流イベントの推進を図ります。

計画の柱3：活気あふれる自立のまち

(1) 地域特産品の研究・開発

地域特産品による地域おこしにより地域住民のやりがいを創生するとともに、遊休施設を利用した加工施設・販売施設の設置も検討し、六次産業化についても研究を進めていきます。

(2) 地域活動組織の改編

地域振興やイベント開催などに、若者の自由な発想が活かされる組織へと、従来の組織から改編を推進していきます。

(3) イベントの発信

規模の大小に関わらず、数多くのイベントを実施することで地域の活性化を図ります。特にクリスタルパーク恵那スケート場及びその周辺を活用したイベントを優先的に検討していきます。

【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆三郷町 ☆武並町 	柱2：地域でともに支えあうまち （1）地域で支えあうまちづくり 柱1：地域が見守る福祉のまち （2）高齢者や体が不自由な方に優しいまち
取り組み内容	
◎住みなれた地域で安心して暮らし続けられる 高齢者や体の不自由な方、妊婦など交通弱者の日常生活における移動手段の確保や公共交通空白地域の解消。生活必需品を入手するための買物支援などに取り組みます。両地域が連携することにより、効率的で利用者にとって魅力のあるサービスが提供できます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆三郷町 ☆武並町 	柱3：生き活きと住み続けたいまち （2）地域の自然や景観を活かした観光振興と地域ブランドの発掘 柱2：人が行き交う交流のまち （1）観光資源の有効活用
取り組み内容	
◎農村景観や地域資源を活かしたおもてなし 自然や景観などを求めて都会から農村を訪れる人達の疲れを癒し、心と体をリフレッシュさせる環境づくりに取り組みます。両地域が連携して、賑わいのあるまちづくりを推進します。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆三郷町 ☆武並町 	柱3：生き活きと住み続けたいまち （3）健康づくりの推進 柱1：地域が見守る福祉のまち （3）笑顔で住み続けられるまち
取り組み内容	
◎ここに住んでよかったと思えるまちづくり 赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。両地域が連携して健康づくりやふれあいを楽しめるようなイベントなどを開催することにより、魅力ある生活圏を創ります。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆武並町 ☆笠置町	柱3：人が行き交う交流のまち （1）観光資源の有効活用 柱2：住みやすいまちづくり （2）景観保全
取り組み内容	
<p>◎川を活かした景観作り</p> <p>両地区を流れる木曾川の対岸を活用した新しい景観づくりを推進します。今ある自然景観だけではなく、人の手による観光資源となる景観作りを両地区で検討し、交流人口の増加を目指します。</p>	